

令和8年度 望洋台地区小中一貫教育グランドデザイン

令和8(2026)年度版

望洋台地区一貫教育の目標

ふるさとを愛し 未来に向かって
たくましく伸びる 望洋台の子ども

知

自ら考え、ともに
学ぶ子ども

徳

思いやり、協力
し合う子ども

体

たくましい心身
をもつ子ども

一貫教育推進協議会

経営会議(校長2名, 教頭2名)
・推進にかかる全体計画・重点事項
の方向付け

拡大会(教務主任2名)

★合同事業★

- ・一斉代表者部会(年2回)
- ・公開授業研究会
- ・小中授業交流週間
- ・生徒指導交流

教務部～小中9年間の接続

- ・年間計画推進にかかる連携
- ・9年間を見通した総合的な学習の時間の指導計画作成・修正

指導部～たくましい心と身体

- ・生活のきまりの連携
- ・児童生徒交流の計画

研究部～授業改善

- ・学習規律の連携
- ・端末のきまりの連携、活用状況の交流

養護教諭

- ・子どもの心身のケアなど

学校事務

- ・学校・学習環境の整備など

特別支援

小樽市小中学校一貫教育基本方針

～学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現を目指して～

学力・体力の向上 豊かな心の育成 地域に貢献する力の育成

Well-Being
持続可能な幸福感

9年間の学びの連続性

つなぐ・そろえる

中学校(重点目標)

自ら学び 共に考え
課題を解決する生徒の育成

高校等との連携

実現期(中2～中3)

- ・進路の実現
- ・実践的取組の深化・拡充

拡充期(小5～中1)

- ・学びの深化
- ・キャリア意識の醸成
- ・望ましい集団による実践・体験の積み上げ

【児童生徒の実態】

- 与えられた課題に一生懸命に取り組むことができる
- 主体性や粘り強さが課題
- すすんで交流したり、仲間と協力したりすることができる
- 集団としての高まりや個々の深まりが課題
- 基礎学力は概ね定着している
- 活用力や想像力が課題

【地域の実態】

- 「町会」の活動は活発で町ぐるみで子どもたちを育てようという意欲が高い
- 協力的で、温かく子どもたちを見守ってくれている

小学校(重点目標)

想像力を働かせ、
自ら考え行動する子どもの育成

基礎期(小1～4)

- ・基礎基本的な学力の定着
- ・学習へ向かう姿勢の確立
- ・望ましい人間関係・集団づくり

幼保との連携